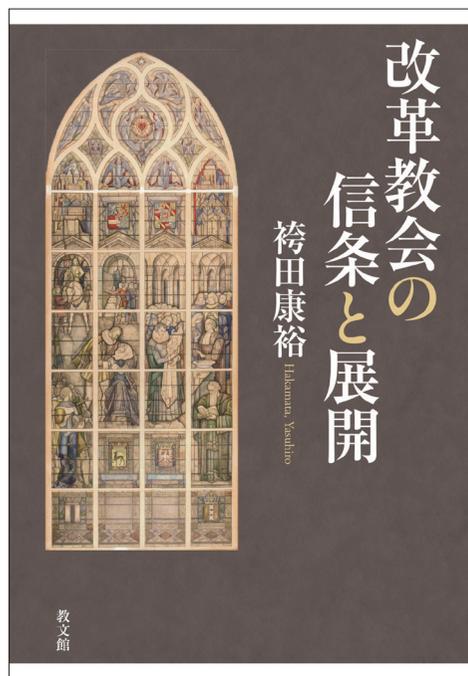




# 改革教会の信条と展開

袴田康裕❖著



## 現代日本において 信条教会を形成する可能性と意義はどこにあるのか？

キリスト者が教理を学ぶ意味と喜び、ウェストミンスター信条翻訳の歴史と課題、教会的拘束力などの問題をはじめ、同信仰告白の「結婚と離婚」や「合法的戦争」といった現代的課題までをわかりやすく解説。改革派長老派教会のみならず、すべての日本の教会に重要な論文・講演6篇を収録。

「日本における伝道と教会形成について語った講演や論文を、『改革教会』という名称を冠した書籍として出版してきました。本書は、その『改革教会』三部作の最終巻となります。私は、日本キリスト改革派教会に所属する教師として、教派の神学的伝統を大切にしつつ、日本における伝道と教会形成について考えてきました。改革派長老派伝統に堅固に立つ教会を建てること、結果として日本宣教全体への貢献につながるという思いがあったからです。その確信は今も変わりません。それゆえ、聖書的な教会形成を目指すすべての人にとって、この三部作で論じてきたことは意味を持ちうると思っています」(あとがきより)

❖著者紹介 袴田康裕 1962年、浜松市生まれ。大阪府立大学、神戸改革派神学校、スコットランドのフリー・チャーチ・カレッジなどで学ぶ。日本キリスト改革派園田教会牧師、神戸改革派神学校教授(歴史神学)を経て、現在、日本キリスト改革派神港教会牧師。著書 『ウェストミンスター小教理問答講解』(共著)、『ウェストミンスター信仰告白と教会形成』、『ウェストミンスター信仰告白講解』(上下巻)、『改革教会の伝道と教会形成』、『改革教会の伝統と将来』、『コリントの信徒への手紙二講解』(上下巻)ほか多数。

四六判・並製・220頁・定価2,860円(本体2,600円+税) ISBN978-4-7642-6180-8 C3016